

# 沖縄だより

<http://okinawa-branch.com/>

No. 90

2019年8月6日

【発行】平和フォーラム沖縄事務所

tel/fax:0980-43-0740

mail:peaceforum.okinawa@gmail.com

## 8月第一土曜日の集会 猛暑の中 800人参加

全国の平和フォーラムのみなさん、暑い沖縄から暑中お見舞い申し上げます。

みなさんも8月は日本からすべての原発を廃絶をめざした福島の闘いからスタートし、全世界から核兵器をなくす広島・長崎の闘いに参加されたと思います。私たち平和フォーラムに結集し最も重要な運動の原点はここにあると思っています。今日のテレビや新聞報道ではこの1年間で5068人の被ばくされた方々が亡くなられ、1945年8月6日の原爆投下から記録にある限りでは、319,186名の犠牲者であると報道されています。

核兵器廃絶の闘いは「米国・ロシア中距離核戦力（INF）廃止条約の失効など核大国による対立が激化するのでは」と不安が広がっています。米国トランプ大統領の顔を伺うばかりの安倍政権は、国連で採択された「核兵器禁止条約」に反対し、国会で条約の署名・批准すら行おうとはせず、戦争被爆国日本の総理大臣として責任を放棄した悪政に腹が立ちます。また米国は東アジアに中距離核兵器の配備を計画し、沖縄の米軍基地が候補であるとする報道もあります。沖縄の米軍基地撤去を願う県民にとって辺野古新基地建設が核兵器と密接につながっているのではと不安が広がっています。核密約があると言えども絶対に許すことはできません。

さて、辺野古新基地建設反対の闘いは猛暑の中連日続いています。7月6日にはキャンプ・シュワブゲート前での抗議の座り込みを始めてから満5年を迎えました。この日はゲート前に350人が結集して基地建設を断念させるまで闘う決意を確認しました。

集会で沖縄平和運動センター山城博治議長は、「この5年間は厳しい闘いであったが、ウチナンチュらしい人情を醸し出す集会であり、闘いであった。これからも闘いは長期化するので明るい気持ちをもってガンバろう」と決意を述べました。

座り込み5年間の闘いを振り返ってみたいと思います。

その1、何とんでもない安倍政権による反対運動つぶしのために山城議長など3人を逮捕し長期勾留したうえ、全国から機動隊、海上保安官などの弾圧部隊を配置し一般参加者100人以上を逮捕したこと。海保は暴力ありきの弾圧で、死者が出なかったことが不思議なくらいです。

その2、翁長県知事が辺野古新基地県反対の現場に参加した2017年3月25日の集会には3500人が結集し、知事は「必ず撤回を行う」と決意を表明した集会、2017年8月11日新基地建設阻止県民大会に45000人、2018年8月11日の土砂投入阻止県民大会には70000人、この5年間キャンプ・シュワブゲート前に座り込みに参加した人々は、私の推定で約10万人を超えたいと思います。

その3、国内外からの多くの賛同がありました。市民を逮捕したことは政府が過度の権力を使用している（国連人権委員会報告、2017年5月30日）、オール沖縄に平和賞がドイツ・ヘーベル平和賞団体から贈られる（2017年9月1日）、国連人種差別撤廃委員会が米軍基地の沖縄集中は差別を根拠として挙げ、沖縄の人びとの権利保護するよう日本政府に勧告（2018年9月2日）、新基地建設の埋立工事を2月24日の県民投票までに停止するようなトランプ大統領に求める署名が21万筆を超える（2019年1月10日）、国内の憲法学者131人が建設は違憲だとして反対の声明（2019年1月27日）、行政法研究者110人が、違法行為、制度の濫用と厳しく批判。県民投票で43万人70%を超える結果に。

8月3日第一土曜日には、沖縄全島の島ぐるみ会議、オール沖縄会議を中心に800人が猛暑の中集会に結集しました。米軍基地から派生する事故・事件への闘いなどが、辺野古新基地建設反対の闘いの原点になっています。この日の集会には、米国から7歳になる女の子が参加し、「美しい海を守って」と訴えていました。

みなさんも夏休みを利用して、辺野古の美ら海、大浦湾をお子さんに紹介してはどうですか？